

様式第3

会 議 録

会 議 名	平成29年度第3回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 地域ケア推進会議による課題について 2 第7期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定について ① 各種調査等について ② 課題の抽出について ③ 施策の方向性について
日 時	平成29年10月12日(木) 午後1時30分から午後2時37分まで
場 所	市役所 高層棟8階大会議室
出席者氏名	会 長 金本 秀之 副会長 渡辺 隆 委 員 土田 隆司 清水 明美 中村 賢 藤井 愛子 宇佐見 節子 篠田 恵美子 筑井 正 石原 和子 岩井 勝治 山崎 美紀 白島 智子 松本 恵美子 大用 菜穂子 平山 彰子 中村 綾子 藤田 進 小松 栄 寺嶋 光子 古曳 孝明 妹尾 昭人 三輪 秀民 山本 由紀子 渡邊 好男
欠席委員氏名	委 員 秋田 茂 加藤 ナホ江 鈴木 清 須賀田 貞彦 丸山 克俊
事 務 局	今 村 繁 (副市長) 富 山 克彦 (保健福祉部長) 直 井 誠 (保健福祉部次長兼高齢者支援課長) 根 本 一弘 (生活支援課長) 大 塚 盛也 (保健福祉部主幹兼社会福祉協議会事務局長) 善 方 浩子 (高齢者支援課長補佐) 鈴 木 隆一郎 (高齢者支援課高齢者支援係長) 山 崎 正浩 (高齢者支援課主任主事) 鈴 木 佑治 (高齢者支援課主任主事) 伊 原 誠宏 (障がい者支援課障がい者福祉係長) 海老原 孝雄 (保健センター長補佐) 山 田 充子 (国保年金課主幹兼課長補佐) 小 倉 貞一郎 (介護保険課長兼地域包括支援センター長) 井 上 薫 (介護保険課主幹兼課長補佐) 宮 崎 英雄 (介護保険課長補佐)

	<p>東風谷 一 (介護保険課介護予防係長)</p> <p>中山 理 恵 (介護保険課介護認定係長)</p> <p>町田 長 之 (介護保険課介護給付係長)</p> <p>永島 徳 子 (介護保険課地域包括支援センター主査)</p> <p>衣川 陽 子 (介護保険課介護予防係主査)</p> <p>小畑 林太郎 (介護保険課主事)</p> <p>林 晋 也 (介護保険課主事)</p> <p>宇佐美 有 希 (介護保険課主事)</p> <p>田端 卓 也 (介護保険課主事)</p> <p>亀井 恵美子 (株式会社ぎょうせい研究員)</p> <p>加倉井 直 毅 (株式会社ぎょうせい主査)</p> <p>磯部 穂乃香 (株式会社ぎょうせい)</p>
傍 聴 者	無し
非公開の事由	—
議 事	平成 29 年度第 3 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりです。
金本会長	<p>平成 29 年 10 月 12 日 午後 1 時 30 分、開会を宣言 会議の成立について報告した。</p> <p>会議録作成のための録音機を使用すること及び市報等に掲載するため、写真撮影することについて了解を得た。</p> <p>会議の公開及び傍聴について説明した。</p>
金本会長	<p>議題 1 地域ケア推進会議による課題について（公開）</p> <p>議題 1 について事務局から説明を受けた。</p> <p>議題 1 について、了承の可否を問うた。</p> <p><異議無し多数></p>
金本会長	<p>議題 2 第 7 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定について</p> <p>議題 2 について事務局から説明を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p>
宇佐美委員	おおむね良好
白島委員	<p>資料訂正について。「介護サービス事業消費者協議会」は過去の名称で、現在は「介護事業者協議会」に変更されている。</p> <p>在宅介護重視の方向性は良いかと思う。</p> <p>ただし、「施策の方向性の 1 から 4」を推進するに当たっ</p>

	<p>ては、人材育成など課題は多い。 子育て事業との連携も必要になると思われる。</p>
三輪委員	<p>住民主体の視点が少し欠落しているのでは。 自身の健康は自分で守る意識を啓発することが肝要なのではないか。</p>
宇佐美委員	<p>三輪委員の意見に同意。 金銭面などで市に頼るのではなく、自分たちのことは自分たちで解決をするという姿勢が必要である。</p>
筑井委員	<p>民生委員とケアマネジャー間での連携強化が必要である。 民生委員に積極的な情報提供を望む。</p>
金本会長	<p>安易に行政に頼る姿勢を見直さなければならない。 市で連携に必要な資料を作成しているので、これらを活用して連携を図り、安心して生活できる野田市を作っていくというのが、この場での話合いである。</p>
介護保険課長	<p>資料訂正に関する説明</p>
保健センター長補佐	<p>市の特定健康診査の受診率及び受診勧奨の施策について説明</p>
介護保険課長	<p>筑井委員の意見について。 サービス利用者は、市が提供する資料を基にするなどして、自らケアマネジャーと契約しており、市が利用者に対し特定のケアマネジャーを積極的に紹介しているものではない。</p>
白島委員	<p>地域包括ケアシステム、総合事業が推進された場合、野田市は社会資源が少ない。 例えば、人が集まる場所の提供など、社会資源を充実させるための行政の支援が有ると良い。 また、市民を巻き込んだ動きを促進するための、金銭的支援についても検討してもらいたい。</p>
三輪委員	<p>西東京市では、市からの支援を受けて、ボランティアでサロンを立ち上げる講座を実施しており、その活動を広げるためにマニュアルの作成などを行っている。 また、市からの助成として行事保険の金額負担も行われており、住民参加の一助となっている。 こうした住民参加を促進するための助成の方向性が有っても良いのではないか。</p>

金本会長	<p>品川区では、家事手伝い等のボランティア活動行くとポイントが付与され、自分が介護を受けるときにそのポイントを使用することができる。</p> <p>このようなインセンティブが、住民のボランティア参加を促進しているので、このような活動も検討すべきではないかと思う。</p> <p>また、最近の野田市の事業として、市民の計画による公園を造る動きがある。</p> <p>住民で計画・維持をする公園は維持費が低くなり、自主性のかん養が期待され、このような活動も検討するべきであると思う。</p>
金本会長	<p>議題2について、了承の可否を問うた。</p> <p><異議無し多数></p>
金本会長	事務局にその他の事項について照会
事務局	特に無し
金本会長	2時37分閉会を宣言